

福まち通信

今年は真冬日の連続で、例年になく寒さでしたが、漸く一段落でしょうか
春が待ち遠しい季節も、まだまだ寒いですね、外出時は足元に十分気を付けましょう。
毎月3日は、「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

2月の行事

- 2日(土) 除雪ボランティア
- 3日(日) 札幌市「見守りの日」
- 11日(月) イオンの日
- 12日(火) 第10回代表推進員会議
- 14日(木) 西岡げんきランド
- 20日(水) 第3回安心安全研修会
- 28日(木) 第10回役員会議

3月の行事予定

- 1日(金) 西岡げんきランド ひなまつり
- 3日(日) 札幌市「見守りの日」
- 12日(火) 第11回代表推進員会議
- 14日(木) 西岡げんきランド おわかれ会
- 29日(金) 第11回役員会議

☆西岡地区『除雪ボランティア』の結果報告

福まちでは、「ひとり暮らし高齢者」で除雪に困っている人の自宅玄関先などの除雪を豊平区の「まちづくりパートナー事業」に基づくボランティア活動として協力し、今回で3回目を迎えました。

この実施結果について報告します。

◇日時 2月2日(土) 9:00~12:15

◇場所 札幌大学に集合し、周辺の4町内会12戸などの除雪作業を実施

◇参加団体及び参加者人数

北海道コカ・コーラ(株) 6名 札幌大学 13名 西岡北中学校 38名

区役所・まちづくりセンター 3名 福まち推進員ほか 17名 合計77名

◇実施内容

○参加者は、ヘルメットを着用、除雪用具を手に、5グループに分かれて、作業に出発。

それぞれ代表推進員の案内により、除雪対象の高齢者の自宅を訪問し、玄関先や窓付近、通路の確保などの除雪作業を行いました。また、周辺の消火栓も併せて除雪しました。

○当日は、好天に恵まれ、各グループともに手際良い、迅速な除雪により、高齢者からは大いに感謝されました。

○除雪作業を終えた後は、札大に集合し、グループ毎に一連の作業内容や除雪体験などをふり返って話し合いし、各グループで発表者を決め、それぞれ簡潔に報告発表しました。

○報告は、いずれも北中の生徒が行いましたが、「高齢者に喜ばれた」「除雪体験を通じ地域に役立つことに関わられた」など率直な内容で、今後とも「地域のことに関わって行きたい」と、前向きな報告でした。

○その後の昼食は、コカ・コーラ提供の弁当・お茶に福まち推進員の方達の手づくりの「豚汁」が付く豪華版の食事で、「豚汁 美味しい!」との声で、お代わりが続出。感激の一こまでした。

◇まとめ

○福まちでは、この「除雪ボランティア」を「世代間交流事業」の一環として、「豊平区まちづくりパートナー」に登録のコカ・コーラ(株)、札幌大学、西岡北中学校に協力し、お手伝いしていますが、上記の通り、除雪作業をふり返っての話し合いから、実感を伴った意義のある交流が図られたと思われまます。

○特に、今年はボランティアの協力体制がこれまで以上にまとまりが良く、開会時の押木福まちセンター長のあいさつ、及び終了時の小山札大副学長の総括で、多くのボランティアが参加し、具体的な実践活動ができたことは、「素晴らしい、地域交流につながる」と強調されました。

お手伝い頂きました推進員の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

☆さば缶を活用した『非常食試食会』を行いました～健康啓発普及事業として～

去る2月12日(火)第10回代表推進員会議の終了後に、災害時などの非常食用に『さば缶を活用した試食会』を行いました。

「さば缶活用のレシピ」は次の通り。いずれも火を使わずに簡単に出来るものばかりです。

◇「さばもずく」 材料2～3人分

さば缶 1缶 もずく酢 70g しょうが(すりおろし) 適量

もずくを「さば」にかけるだけ!すぐ飲みたいときの1分メニュー

◇「さばネバ」 材料2～3人分

さば缶 1缶 納豆 1パック(45g) オクラ 4本

練り梅 大さじ1/2 しょう油 小さじ1

オクラ納豆に「さば」をプラス。梅干しのほのかな酸味も忘れずに。

◇「ガリさば」 材料2～3人分

さば缶 1缶 しょうが甘酢漬け 30g きゅうり(千切り) 1本

・ガリさえあれば、のスピードおつまみ。きゅうりがさわやか!

当日は、非常食用の「ワカメごはん」(水を入れて60分)とこの3品を皆で試食しました。

◇昨年9月6日未明の「胆振東部地震」後の停電時の貴重な経験から、いざという時の備えの大切さを実感しましたが、改めて災害時の対応を再確認しました。

今回の試食会では関係機関や代表推進員の方から、「結構おいしいね!」「これで十分だね」との評価でした。皆さんも自宅では是非作って試食してください。